

最近、子どもたちの使う言葉が乱れ、キレやすい子どもが多くなってきたと言われていることがあります。「うざい」「きもい」は言うまでもなく、「…だし」「知らないし。」など、乱暴な言葉を小学校低学年の子どもの会話の中でも聞くことがあります。

それは、テレビやインターネットのせいだという人もいます。確かに、テレビを見ると相手をあからさまに馬鹿にして汚い言葉で罵る場面をよく見かけます。子どもは、周りの状況から影響を受けますから、それも原因の一つかもしれません。

人はまず、生まれてから家族の中で言葉を覚え、その後、成長とともにいろいろな関わりから、言葉を覚えていきます。日常生活の中で覚えた乱暴できつい言葉を、つい使ってしまうのでしよう。

現在、子育てに関する本や子どもの言葉遣いについて考える本がたくさん出回っています。私はまずは、『ありがとう』を子どもに意識して言うようにしたらどうかと思っています。それは、相手を思いやる気持ちが素直に伝わる言葉だからです。人と言葉を交わすことは、相手と気持ちを伝え合うことです。一番身近な存在である親から笑顔で「ありがとう」と言われると、とても嬉しいものです。自分が相手のことを思っていたこと、言ったこと

とに対して「ありがとう」と言われることで、「私のことを見ていてくれていい」「ぼくの話を大切に聞いてくれていい」と、子どもは思うでしょう。子どもは大人に認めてもらいたいと思っと思っています。褒めてもらいたいです。子どもは、親の笑顔が見たくて、次も褒められることをするようになるのではないのでしょうか。その都度、「ありがとう。嬉しかったよ。」と伝えてあげてください。その経験が、気持ちの安定や豊かな心を育むことにつながっていくように思います。

忙しく毎日を過ごしていると、話しかけてくる我が子の目も見ないで、「そこにあるでしょ。」「ああそうなの。」と言ってしまうこともあります。しかし、努めて「ありがとう。がんばったね。」と目を見て言ってみると、子どもの受け取り方もずいぶん違ってくるように感じます。相手に対して、思いやりの気持ちをもって話すことができるといいと思いませんか？

言葉は、時として人を傷つけることがあります。一方で、気持ちを温かくしてくれるものもあります。気持ちが温かくなる言葉や優しい言葉で子どもにたくさん話しかけてあげたいものです。『ありがとう』…私の大好きな言葉です。

## 連載・青少年健全育成シリーズ 第319回

青少年の声かけあいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

## 『ありがとう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市民会議編集委員

### 広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,300部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：総務課 法制広報担当

#### 広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。  
掲載状況は、下記をご参考としてください。  
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄